

第1回 可児市地域クラブ活動推進会議 議事録（要約）

日時：令和8年6月22日（月） 15時～

場所：可児市役所5階 全員協議室

委員：別紙のとおり

地域クラブ活動推進会議の目的、体制

・設置の目的

可児市中学生のスポーツ・文化活動の機会を創出し、持続可能な地域クラブ活動の体制整備について協議、検討を行う。また、改革実行期間（令和8年度～13年度）の、部活動の地域展開を円滑に推進することを目的とする。

・体制

本年度から新たに、可児市PTA連合会会長、地域指導者を委員として迎え、保護者および地域指導者の多角的な視点から協議を進める体制を整える。

議題1：部活動改革の概要

・これまでの経緯と現在の体制

可児市では、国の「学校の働き方改革」に伴う休日の段階的な地域展開の提示を受け、方針を協議してきた。試行実施を経て、令和6年度から本格実施へ移行している。

現在は、市が制度設計や相談窓口を担い、実際の運営主体として一般社団法人可児UNICスポーツクラブ（以下「UNIC」という。）へ委託する協働体制を敷いている。UNICが登録管理や事務手続きを一括して担うことで、学校や保護者、地域指導者の事務的かつ経済的負担の大幅な軽減を図っている。

・今後の予定

現在の「市、UNIC、学校、地域」の協働体制を基盤とし、国や県の動向を注視しながら引き続き環境整備を継続する。

議題2：令和8年度の取り組み事項及びスケジュール

・全体スケジュール（改革実行期間：前期）

国のガイドラインに定められた令和8～13年度の「改革実行期間」に基づき、令和8～10年度の3年間を「前期」と位置づけ、まずは休日の活動充実および地域展開の完了を目指して注力する。

・地域クラブ活動アプリ（キントーン）の導入

本年4月からデジタルアプリの「キントーン」を導入し、生徒・指導者の登録や勤怠報告のデジタル化による業務効率化を図っている。導入初期に生じたシステム上の課題や周知不足については、順次改善を進める。

・指導者の公募

指導者不足のクラブに対し、県の人材バンクにて該当者確認中。登録者がいない種目は市 HP 等で公募を実施予定。

・今後の予定

平日の地域展開については、関係機関と協議しながら、慎重に検討を進めていく。また、キントーンの改善については、課題点を洗い出し、導入企業と相談しながらシステムの改修を進める。

議題 3：参加生徒及び地域指導者の登録状況

・地域指導者の登録状況

本年度の登録者数は 427 人（前年度 405 人から 27 人増加）。見守りを行う「サポーター」の登録が増加傾向にある。昨年度導入したサポーター制度が徐々に定着している。一方、指導者が未配置のクラブもあり、確保が引き続き課題。

・生徒の加入状況

全校生徒に対する地域クラブへの加入率は 47.3%（前年度比 3.8%減、実数で 125 人減少）。減少の要因として、生徒数自体の減少に加え、部活動の任意加入制の浸透、生徒の主体的選択（多様化）が挙げられる。

議題 4：学校体育館のスマートキーの導入について

・学校体育館のオンライン予約&スマートキー導入

5 月から学校開放体育館の予約をオンライン化。地域クラブは優先団体として先行予約や使用料減免の支援を行う。7 月から「スマートキーボックス」を導入。予約システムと連動し、暗証番号が通知される仕組み。これにより、生徒による物理鍵の持ち帰りや学校からの貸し出し業務を廃止し、セキュリティを向上させる。

・スマートキーの周知

各地域で開催される「月例調整会議（7 月分）」にて、地域クラブ関係者も含めて解錠・利用方法の丁寧な説明を行う。

議題 5：夏季における熱中症対策の徹底

・活動指針

本格的な夏期を迎え、地域クラブ活動は学校教育活動に準ずるものとして、可児市教育委員会が策定した「熱中症ガイドライン」に沿って活動を行う。

・機材の配備と啓発

令和 6～7 年度に「暑さ指数（WBGT）測定器」を各学校へ配布済み（屋外用 4 台、室内用 2 台）。6 月初旬に、サポーターを含む地域指導者へ注意喚起の資料を送付し、活動時のこまめな測定と遵守を依頼。

・今後の予定

夏季活動中におけるガイドラインの厳格な運用と、現場での暑さ指数測定の徹底。

その他

各委員および事務局より、現場での実態に基づく課題について提言があった。

・UNIC からの報告・課題

年会費（保険料）を未納のため、スポーツ安全保険に未加入の生徒が存在する。怪我の際の補償リスクが高いため、早急な対応が必要。また、4～6月分の指導者謝金は、7月末までに各指導者へ支払い予定。

・地域指導者からの意見・要望

年度初めの集金や手続きのスケジュールが現場（指導者・保護者）に伝わりきっておらず、周知の仕組み化が必要。また、キントーン（出勤簿デジタル化）の導入に伴い、学校の先生と地域指導者の直接的な連絡・連携が希薄化している。

中体連等の大会参加について、「学校部活動」または「地域クラブ」での出場が可能となり、混在し複雑化している。

・県コーディネーターからの提言

これまでの「学校部活動の補完」から「持続可能な地域クラブ活動の体制整備」へとフェーズが移行している。

・今後の予定

・関係者への周知徹底に努め、4月当初に円滑な即時集金・即時保険加入等の登録手続きができる体制へ改善する。

令和 8 年度 可児市地域クラブ活動推進会議 委員

委員	会長	市民文化部長
	教育委員会事務局	教育委員会事務局長
		教育総務課長
		学校教育課長
		教育研究所 指導主事
		学校教育課 指導主事
	校長会	蘇南中学校 校長
	可児市 PTA 連合会	可児市 PTA 連合会 会長
	体育連盟	可児市体育連盟 事務局長
		可児市体育連盟 事務局次長
	可児 UNIC スポーツクラブ	可児 UNIC スポーツクラブ 理事長
		可児 UNIC スポーツクラブ 事務局長
	岐阜県	岐阜県地域クラブ活動推進コーディネーター
	地域指導者	蘇南中女子卓球クラブ地域指導者
事務局	市民文化部	文化スポーツ課